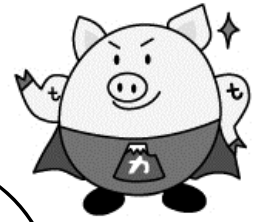


地区主体での
「まちづくり行動計画」づくりの手引き
【役員説明会 資料】

目次

1	まちづくり行動計画の概要	1
2	行動計画づくりの方針	3
3	行動計画づくりのスケジュール（案）	4
4	行動計画の構成（案）	5
5	行動計画づくりの流れの例	6

1 まちづくり行動計画（以下「行動計画」）の概要



1) 行動計画づくりの目的

☆まちづくり協議会のめざすべきものを明確にするために、今後の取組などについて、地区の皆さんに知っていただき、共通の認識を持っていただくものです。

⇒計画をつくることによって…

- 目的を共有することで、地域活動等に対する地区の皆さんの参加意欲や結束力を高めるという効果も期待できます。
- 既の実施している各種の事業・活動についての意義や目的を再認識し、わかりやすく体系づけることができます。

2) 行動計画の大枠

平成 32 年を目標として策定します。

現在

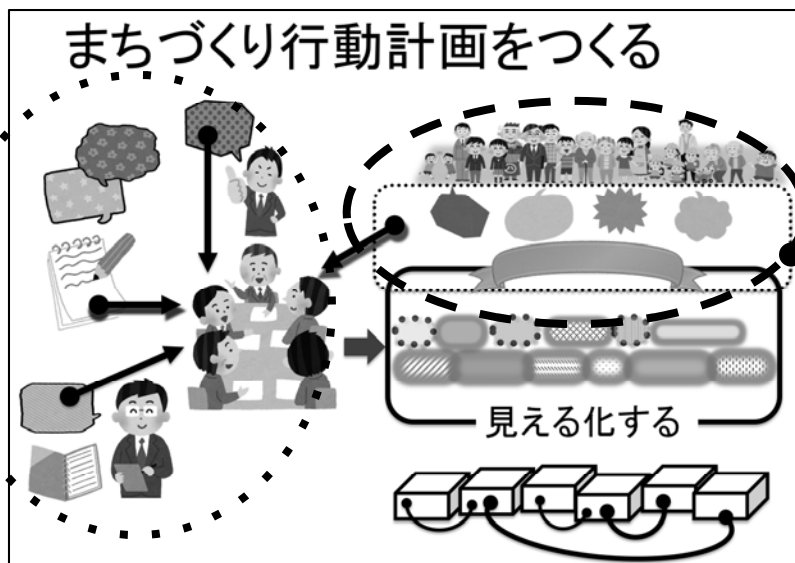
(平成 26・27 年)

「まちづくり行動計画」

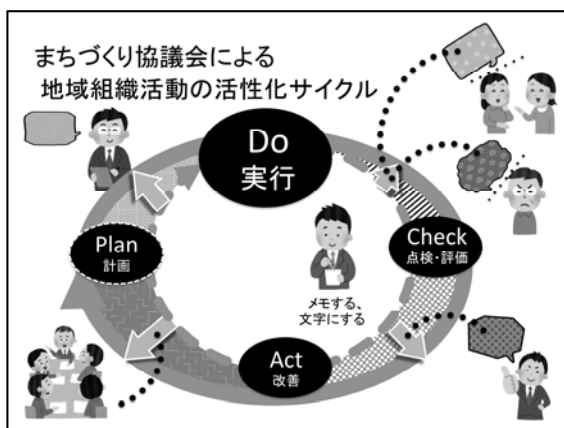
- めざす地区像
- 5年間の地域活動の目標・方針
- 5年間に実施する事業・活動

平成 32 年

3) 行動計画づくりの考え方



● 施策体系づくり～組織や個別の活動の点検



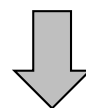
- ・ 組織図を理解する
- ・ これまでの活動（記録）を確認する
- ・ 組織図に乗っ取って行動、活動をかえてみる
- ・ 周囲の声を拾い集める
- ・ 改善方法を考え、試す
- ・ 記録を持ち寄る

☞ どのような方法で進めていくかを地区で検討

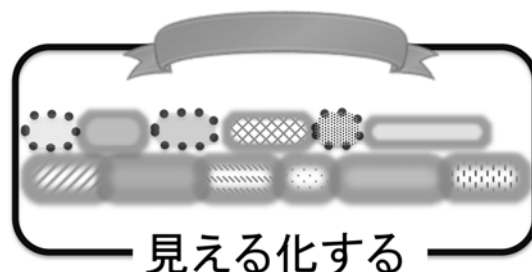
● 地域の資源や課題、新たな活動、将来目標などの確認、発見、抽出



- ・ 地域の声を拾い集める方法を企画する
 - ・ 集めた声を集約、編集する
- ☞ 企画、運営方法を地区で検討する



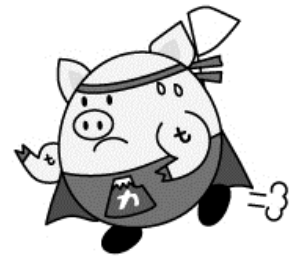
● 計画のカタチに整理する



- 例) 特性／課題／目標／方向性／施策／事業
- ☞ どのように作業していくか地区で検討する

地区の特性や協議会設立までの経緯を踏まえ、地区の実情にあった方法やスケジュールで計画づくりを「企画」してください。

2 行動計画づくりの方針



1) 協議会の運営
方法の検討・
確立と併せて
計画づくり!

協議会の運営上の悩みや不安等を整理し、その解決策を検討することで、より良い運営方法を確立するとともに、並行して、めざす地区像を共有するための行動計画づくりを進めていきましょう。

2) 協議会主体
で策定!

会長さんを中心に、より多くの地区の皆さんのご意見を踏まえて策定しましょう。

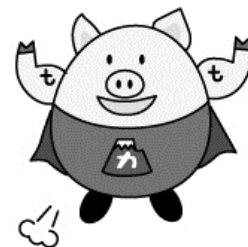
3) 平成 26・27
年度で策
定!

各地区で2年間の策定スケジュールを立て、平成 27 年度の完成を目指して、検討を進めましょう。

4) みんなの
「道するべ」に
していこう!

計画づくりは、それぞれの地区の活動をより活発に、効果的に実施していくための手段です。より良い地区の未来を実現するための、みんなの「道するべ」となるような計画にしていきましょう。

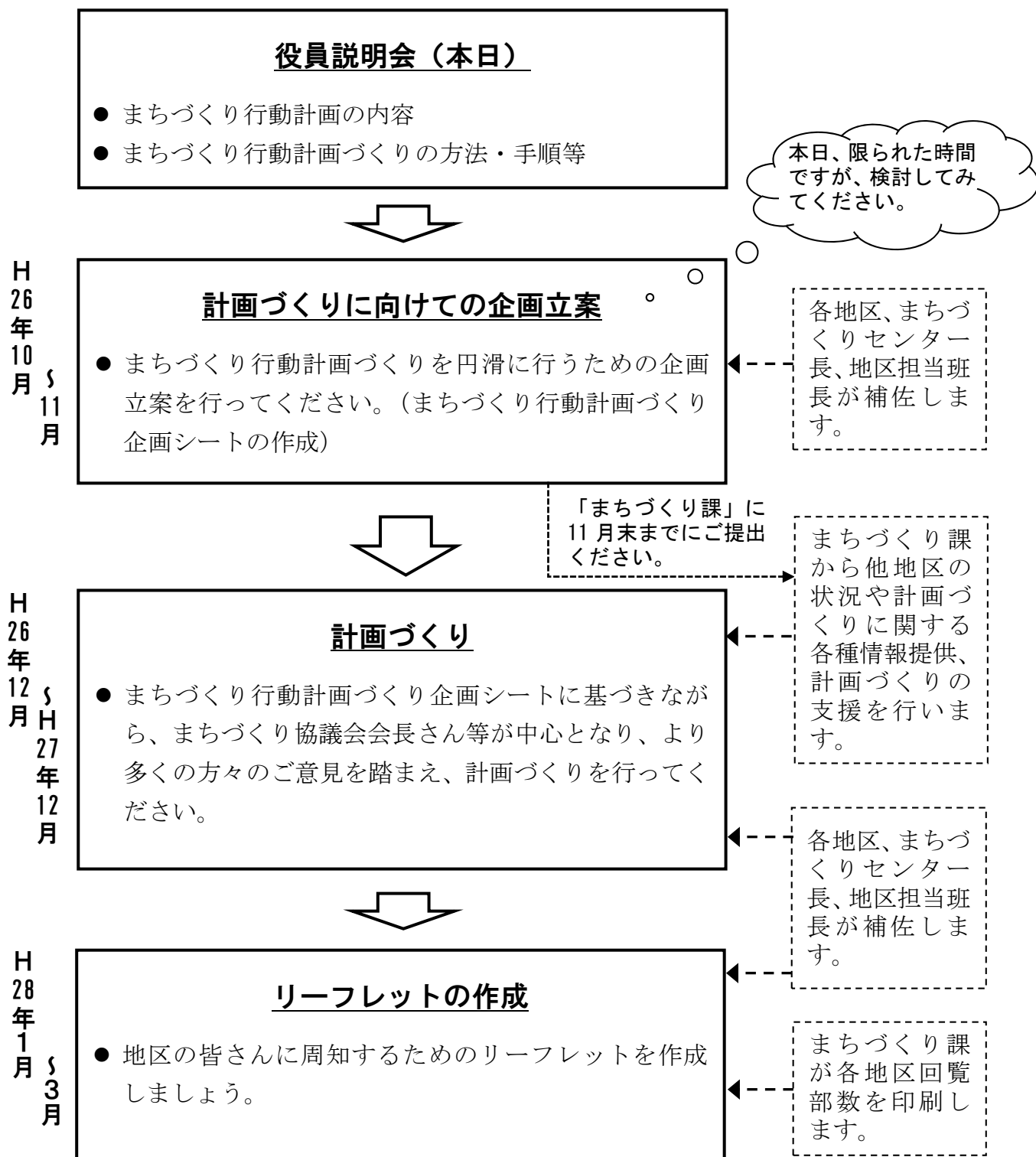
3 行動計画づくりのスケジュール（案）



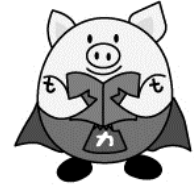
行動計画づくりの基本的なスケジュールを以下のように考えています。

【まちづくり協議会】

【行政からの支援】



4 行動計画の構成（案）



■地区の現状と課題

- 地区の特性、自慢、課題などを整理することで、新たに必要事業・活動や充実しなければならない事業・活動などが見えてきます。

<地区コミュニティの将来像>

■キャッチフレーズ

- めざす地区のコミュニティ像をキャッチフレーズで表現しましょう。

■地域活動の目標

- 地域活動の目標を掲げましょう。（部会ごとに目標を掲げるとわかりやすいのではないのでしょうか）

■地域活動の方針 → ■5年間に取り組む事業・活動

- 部会ごとの目標に基づき、地域活動の方針及び5年間に取り組む事業・活動を示しましょう。

体育保健部での活動方針及び事業・活動（例）

【活動方針】

- スポーツを通じて良好なコミュニティを形成するため、地区全体での体育大会等を開催する。

【事業名(主体)<時期>】

- 区民体育祭（生涯学習）<継続>
- ○○大会

【行動計画の成果品（リーフレット）のイメージ】

○○地区 まちづくり行動計画

○○地区まちづくり協議会 平成 27 年 3 月発行

本計画は、地区の将来を見据え、各種団体間の連携のもと、地区の課題解決に向け、概ね今後5年間に効果的・効率的なまちづくり活動を地区が丸となって計画的に実施していくための指針です。

有償印刷の目的や趣意等を記します。

各団体を包括する字種数を記載し、掲載の特性や趣意を記載します。

分業やグラフを交えて、地区の特性や課題を整理します。

地区の特性を代表的に写真等で

人口・世帯数の推移

土地利用や市街地の状況

地区の自慢

◇自然・歴史

◇産業・特産物

◇生活環境・施設等

写真やグラフを交えて、地区の自慢を整理します。

地区の課題

◇環境に関すること（生活環境、自然環境、子育て・教育環境など）

分業やグラフを交えて、地区の問題や課題を整理します。

地区コミュニティの将来像

キャッチフレーズ

まちづくり活動の目標

健康体育

スポーツ・レクリエーションを通じた、住民の健康づくり、元気づくり

防災

安全

青少年育成

環境

福祉

文化・教育

住民同士がともに手を携え、助けあい、温かい心が通うまち

安全・安心で、誰もが「暮らしがよくなった」と思える住みよいまちにするために、住民がともに手を携え、担当に助けあって、温かい心が通うまちをめざします。

【第五次総合計画での「めざす地区像」】

快適な生活環境で、人がつどい、安心して住めるまち

まちづくり活動方針及び実施事業

活動方針

実施事業（時期等）

- スポーツを通じて良好なコミュニティを形成するため、地区全体での体育大会等を開催します。
- 住民の健康増進と生活環境の改善を図るため、スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を創出します。
- 住民が地区内でウォーキングやジョギングなどを楽しめるように、歩道の整備や有償利用を行います。

- 区民体育祭（継続）
- 学校体育祭の開催・参加（継続）
- 若い世代向けの地区大会（10年毎）
- 健康ウォーキング大会（新規）

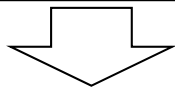
■既事業・活動の整理

各種団体が実施する事業・活動についても、盛り込みましょう。
※部会の構成団体が連携・共同で実施する方法等も考えましょう。

5 行動計画づくりの流れの例



行動計画づくりのための企画立案



例1 (基本的な流れ)

1 地区の現況と課題の整理



2 既事業・活動の整理 (各種団体の事業・活動を含めて整理)



3 キャッチフレーズ、地域活動の目標・地域活動の方針の検討



4 5年間に取り組む事業・活動の検討 (新規、既事業等の継続、充実、連携・共同、廃止等も合わせて検討)

地区の現況と課題、既事業・活動を整理したうえで、キャッチフレーズ・目標・方針を立案し、方針に基づき新たな事業・活動も含め5年間に取り組む事業・活動を計画する。

例2

既事業・活動の整理がある程度済んでいる場合等

1 キャッチフレーズ、地域活動の目標・地域活動の方針の検討



2 地区の現況と課題の整理 (簡単に整理)



3 既事業・活動の継続、充実、連携・共同、廃止等を含め、5年間に取り組む事業・活動の検討

キャッチフレーズ・目標・方針を立案したうえで、地区の現況と課題を踏まえつつ、既事業・活動の継続、充実、連携・共同、廃止等及び新規の検討を行い、5年間に取り組む事業・活動を計画する。

例3

地区の現況と課題を整理したうえで、既事業・活動の整理とキャッチフレーズ・目標・方針の立案を並行して行い、それらを踏まえて、既事業・活動の継続、充実、連携・共同、廃止等及び新規の検討を行い、5年間に取り組む事業・活動を計画する。

1 地区の現況と課題の整理 (簡単に整理)



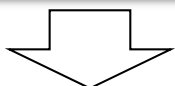
2 既事業・活動の整理 (各種団体の事業・活動を含めて整理)



3 キャッチフレーズ、地域活動の目標・地域活動の方針の検討



4 5年間に取り組む事業・活動の検討 (新規、既事業等の継続、充実、連携・共同、廃止等も合わせて検討)



行動計画リーフレットの作成